<健保から大切なお知らせです>

～知って防ごう！ 子宮頸がん・胃がん～

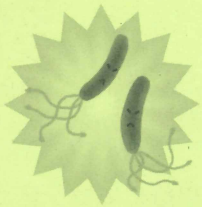
～癌にならないために～

ピロリ菌検査　ピロリ菌除菌で胃がん予防！　～胃がんの主な原因はピロリ菌です～

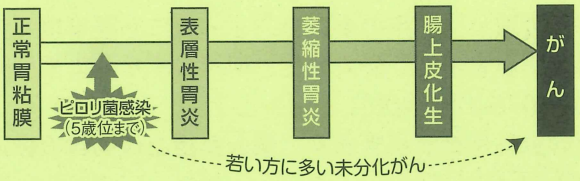
◆「ピロリ菌」感染が胃がんを引き起こします。

ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃がんを引き起こすことが解明されてきています。この機会にピロリ菌感染の有無をご確認ください。
結果が陽性の方は、除菌治療をして、胃がんを予防しましょう。





[胃がん発生の仮説]



〈こんな方は受診を！〉
- 胃の調子が悪い
- 家族に胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる

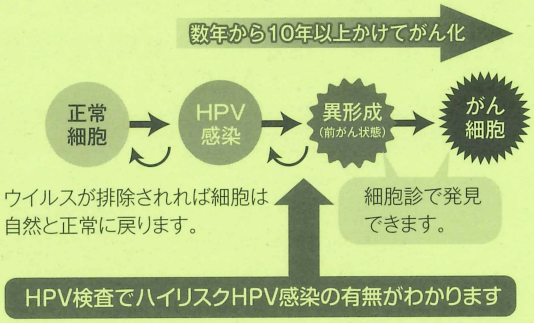
除菌治療には、胃・十二指腸潰瘍などに加え、「胃炎」にも保険適用されています。ただし、保険適用のためには内視鏡による確認が必要です。

ＨＰＶ検査　子宮頸がんのリスク・予防ができます！

20～30歳代 急増

◆ 子宮頸がんは「HPVによる持続感染」が原因

子宮頸がんはHPVの感染によって発生します。HPVは性交渉により感染するウイルスです。通常は感染しても自己の免疫力等で自然に排除されますが、約10%で感染が長期間持続し自然治癒せず、前がん病変を経て数年以上かけて子宮頸がんに進行します。



◆ HPV検査とは？

子宮頸がんの原因である14種類のハイリスク型HPVの感染を調べる検査です。その中でも特に16型と18型が子宮頸がんに進行する可能性が高く、感染後も悪化するスピードが速いといわれています。
また、HPVに感染していることがわかれば、将来病変の進行・予測が可能になります。

◆ HPV検査で陽性だったら？

HPV検査で「陽性」だった場合、まずは医師による子宮頸がん検診（細胞診）を受けてください。その結果が「異常なし」であれば、HPV検査が陽性であっても驚くことはありません。**但し、HPV検査で陰性を確認するまで一定の間隔で医師による経過観察を続ける必要があります。**

●HPV検査器具●



タンポン状の器具を膣に入れ子宮頸部の細胞をとります。

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

検査機関では、**受診者の方にあった病院をご紹介**しています。
紹介状の作成（無料）も行っていますので、
お気軽に検査機関にお問い合わせください。

受診後も安心!!

メスプ細胞検査研究所まで
お気軽にお問い合わせください
TEL 075-231-2230（平日10：00～16：00）
FAX 075-211-7400
メール mail@msp-kyoto.co.jp

【注意事項】・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。